

令和6年12月17日

山ノ内町議会議長 湯本 晴彦 様

山ノ内町議会運営委員長 山本 光俊



議長諮問に対する答申

令和5年6月27日付5山議第18号をもって諮問のありました標記事項について、下記のとおり答申します。

1. 諮問事項に対する答申

(1) 議会としてのあるべき姿について

①町民に対しての信頼回復をもたらすためには何をすべきか。

○議員一人ひとりが町民の信任を受けた公人としての自覚を持ち、各々がどうあるべきか日々研究し、高い識見を養うよう努め、必要に応じて研修会などに参加するとともに、議会報告会や議会だより・ホームページ等で、その取り組みを発信する。

また、町民との対話を増やし、議会の使命と議員の職責を果たすとともに、我々がしっかりと活動する姿を見せる。

②なり手不足解消につなげるために、我々がやらなければならないこととは。

○町民の皆さんと連携をはかりながら立候補しやすい環境整備に引き続きつとめる。

③議会としての存在意義と共に、今どこに重きを置くべきか。

○町民の皆さんの生活をより良くするために政策提言と行財政のチェックに重点を置く。

(2) 議会のDX化について

①タブレットの導入を進める検討。

○令和7年度中の導入を目指す。

②議会運営の効率化、事務局の負担軽減につなげるためには。

○タブレットを導入しペーパーレス化をはかるなど、抜本的な業務の見直しを行う。